



発行所  
 社団法人 国民文化研究会  
 (九州←→東京←→全国)  
 東京都渋谷区東1-13-1-402  
 振替 00170-1-60507  
 電話 03-5468-6230  
 F A X 03-5468-1470

月刊「国民同胞」編集部  
 毎月一回10日発行  
 購読料 年間2000円

## ハンゲルと「反日」教育

磯貝保博

韓国語を習はうと思ひ立ち初級コースの前半(五ヶ月)が終つた。週二回、会社が終つてからの講座なので仕事の都合で休むこともあつた。記憶力と集中力が不足し、多少読めるやうにはなつたが身に付くにはまだまだ遠い。

韓国にはこれまで二回行った事がある。一回目は今から三十八年前の昭和四十一年のことで、国民文化研究会が派遣した韓国訪問学生研修団の一員として行く機会に恵まれた。当時、一般の旅行者が入れなかつた三十八度線の板門店を訪ね、その緊張感あふれる光景は今でも記憶に残つてゐる。二度目は六年前会社の同僚とソウルに観光旅行をした時である。二度の訪韓の機会があつても、その時は韓国語を習つてみたいといふやうな気持ちにならな

かつた。

しかし、北朝鮮による邦人拉致事件が明らかになつたり、韓国の盧武鉉(ノムヒョン)大統領と与党ウリ党の政治姿勢が今までの北鮮対峙の姿勢から大きく変わつてゐるのを見るにつけ、朝鮮半島の政治や文化についてもつと知りたいものと思ふやうになつた。それで韓国語学習に挑戦することになつたのである。

今年の三月、韓国では「親日行為究明特別法」なるものが国会で可決されてゐる。日本統治下における親日嫌疑者の選定、その調査・報告書の作成、史料編纂などを大統領直属の委員会が遂行していくのだといふ。過去の歴史を現在の「反日」といふ特定の見方で裁定するもので、いはば歴史を口実に同国人が同国人を断罪する前代未聞の法律ではなからう

か。かかる思考は私のみならず多くの日本人には理解できないことと思はれる。何とも憂鬱な気分になる。

拓殖大学教授の呉善花氏が産経新聞の「韓国人の反日民族史観のウソ」と題する連載コラムの中で、韓国が何故反日民族主義を掲げるのかを以下のやうに指摘してゐる。「植民地化という悪をもたらしたのは、そもそも日本民族の資質である。それは古代、中世、近世、近代を通じて、現在に至るまで延々と生き続けてきた侵略的で野蛮な資質であり、歴史的に根深い朝鮮劣等視・蔑視の民族意識が日本人にあるということを見聞させるためだ」と。

特別法の成立はそのやうな日本に協力した不義なる者をあらためて洗ひだすといふものである。歴史教科書もさうした視点で書かれ、子供達に反日教育が行はれてゐると思ふと云ひやうのない悍(おこ)しさを覚える。

ところで、いま韓国では殆どの文書がハンゲル表記になつてゐる。ハンゲルは固有の民族文字といふことで重んじることになつてゐるやうだ。私が一回目に訪韓した頃は店の看板に漢字が見られたやうな記憶があるが、二度目の時は殆ど見られなくなつてゐて驚かされた。ハンゲルは李

氏朝鮮王朝四代世宗王二十五年(一四四三)に漢字漢文では表現しがたい語句を表すために二十八文字を創出したのが源である。しかし当時、中華文化一辺倒の知識人たちからは「女文字・子供文字」と蔑まれた。ところが、ハンゲルの普及については日本統治時代に総督府が初等教育の義務化を円滑に実施するためにハンゲルに注目したことによるところが大きかつた。「反日」を叫んでハンゲルを重視してはゐるが、ハンゲル普及に寄与した日本といふ視点からすれば、韓国の所謂「反日」がかなりの程度まで実態から離れたものであることが読み取れるやうに思はれる。

それはともかくハンゲルに重きを置くあまり漢字を追放して、これまでの漢字表記による文学や歴史史料などはどうなるのか、昔の文化は受け継がれるのかと些か気になつてゐた。しかし最近、韓国内で漢字学習の必要性の声が高まつてゐるといふ記事を目にして他国のことながら少しは安心した。翻つて我が国青少年の「読み書き」能力の低下を思へば、隣国を心配するところの騒ぎでないことに慄然たるものがある。それは数学にも理科にも跳ね返つてゐる。

(大日本園芸(株)社長・本会副理事長)